

R4年度 事業名	ふるさと納税推進事業		
R3年度 事業名	ふるさと納税推進事業		
総合戦略 体系	213	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~
		ふるさと納税の推進	

PLAN (計画)	部署名	財務管理課		開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	県内外においてふるさと納税制度の周知と市のPRを行い、ふるさと納税寄附の確保に努める。					
	概要	市の魅力を寄附者に伝えるため、お礼品として市の特産品を選定し、ふるさと納税ポータルサイトやお礼品カタログに掲載する。また、イベント等さまざまな機会を通して鯖江市のPRを行い、ふるさと納税という形での鯖江市の応援を呼びかける。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度)例年、大阪や横浜などで開催されているふるさと納税サイトのイベントに出展し、市とふるさと納税のPRを行っていたが、本年度は中止とした。 (R3年度)例年のイベント出展などができないことから、魅力的な返礼品の充実を図ることが重要となる。他自治体との差別化という点から眼鏡引換券を使い勝手を向上させた。 (R4年度)引き続きイベント出展によるPRは見込めないことから、魅力的な返礼品の充実を図るとともに、外出を控えることによる巣ごもり需要に対応するため、契約するポータルサイトを増やすことでより多くの納税機会を見込む。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	お礼品発注、証明書発行など一部の業務を民間に委託している。			
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	広報さばえ市外愛読者へのリーフレット送付枚数(2022年度まで)		枚	目標値	120	120	120	120	
				実績値	120	120	120		
	市広報誌掲載回数(2022年度まで)		回	目標値	2	0	0	1	
				実績値	0	1	1		
	返礼品の個数		個	目標値	240	250	300	350	400
				実績値	239	247	365		
	市外在住者へのLINE配信の回数(2023年度から)		回	目標値					2
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	ふるさと納税件数		件	目標値	4,500	4,500	5,000	5,500	6,000
				実績値	6,653	6,809	8,363		
	計算 根拠	鯖江市への寄附者数の増加を目指す		達成率	147.8	151.3	167.3		
実数値									
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	124,000	124,800	128,300	212,000	250,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	98,149	100,474	106,420	193,404			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	202	ふるさと納税推進事業費	250,000	250,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 内容拡大	取組内容 お礼品の募集や見直し、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載充実などの取組みを維持し、更なるふるさと納税寄附金の確保に努める。
来年度へ向けて R3年度実績 メガネ引換券の利用店舗を全国に拡大したことや、人気ブランドのメガネ引換券を導入したことによって、寄附件数や金額の増加に繋がった。また、新たなポータルサイト2社と契約し、露出を増やすことにより、返礼品の認知度向上や寄附機会の増加に繋がった。	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 令和3年度に新たなポータルサイト2社と契約し、令和4年4月からさらに1社と契約した。来年度以降も、ふるさと納税サイトのイベント出展や、PR活動ができない可能性が高く、新規顧客獲得のためにはふるさと納税ポータルサイト上でのPRが重要であり、ポータルサイトの掲載情報のブラッシュアップや効果的な広告宣伝をする必要がある。また、寄附件数が増加していることから事務手続きが増加しており、業務を改善する必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 ふるさと納税は鯖江市外の人からの寄附により①本市の財源確保、②市内商品の売り上げ促進、③市内商品のPR、など、成果次第でメリットが多岐にわたる大変重要な事業である。令和5年度からはプロポーザルにて中間事業者を選定し、新たな返礼品の開発・導入に向けて引き続き取り組んでいく。また、ワンストップ特例申請に係る事務手続きや商品発送等についての新たなサービスが開発されており、積極的に導入することで業務プロセスの改善を図る。	R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒